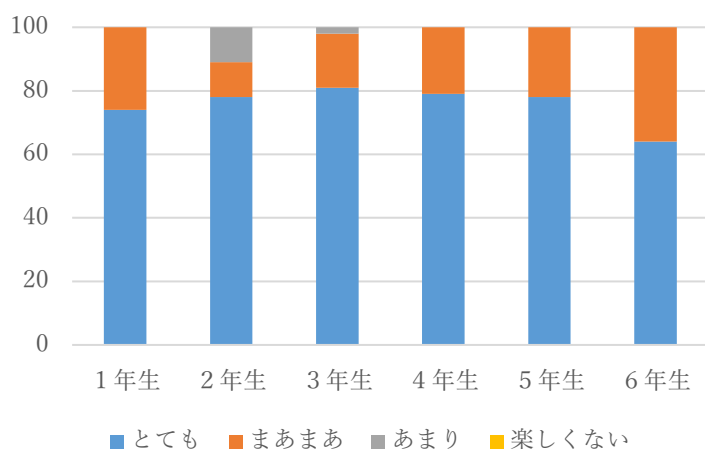
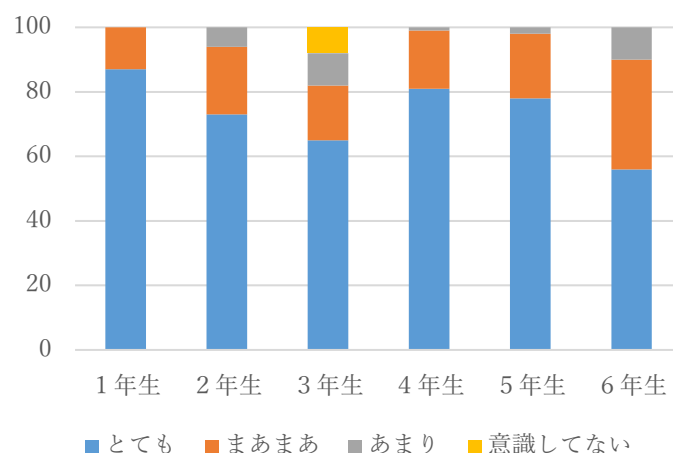


令和7年度亀川小学校外語科アンケート（令和7年11月実施）

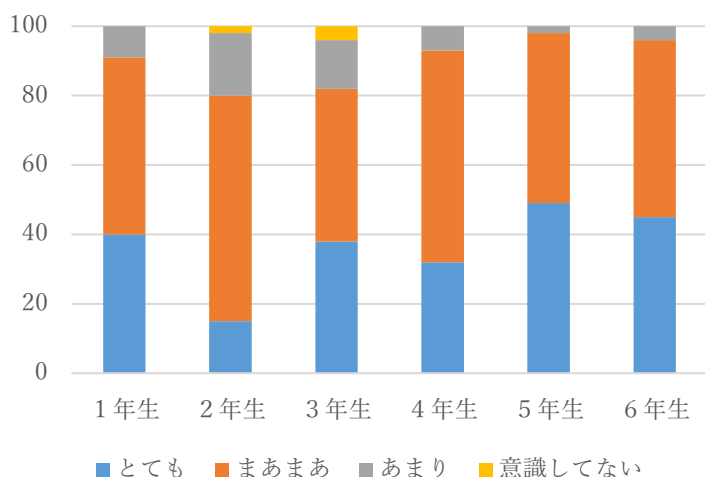
外国語は楽しいか



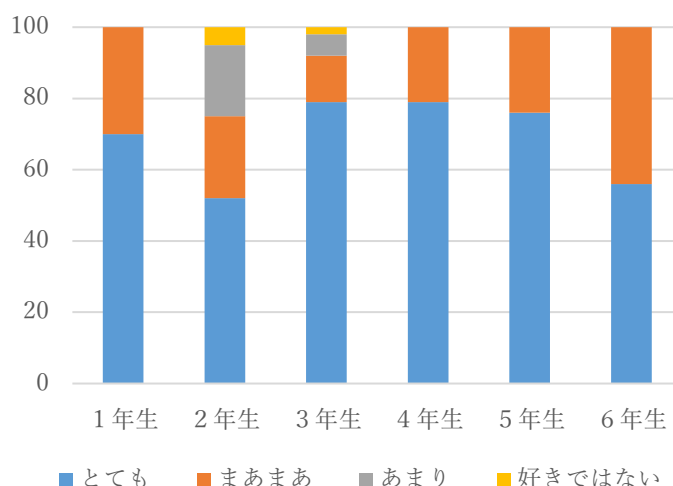
英語をもっと話せるようになりたい



伝えるための意識（Clear Voice）

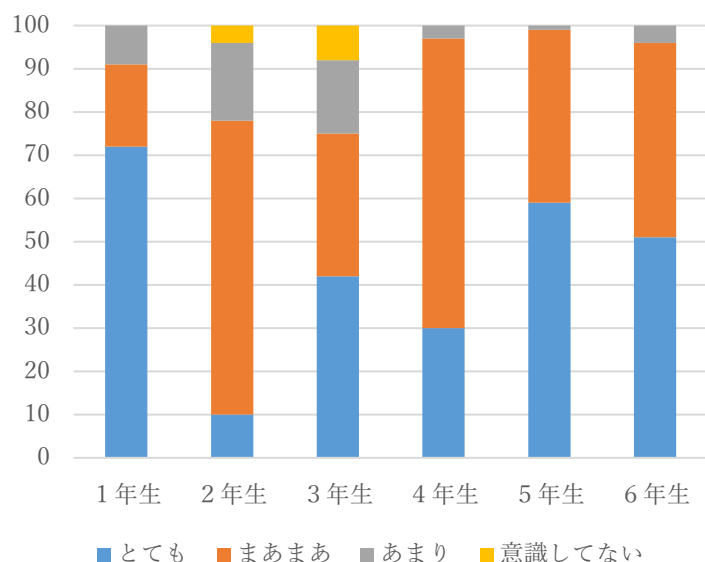


外国語は好きですか



相手の目を見ながら話す

Eye Contact



全ての学年をととして今年も概ね良好な結果であると捉えている。特に教科となる3年以上は関心や意識も高い。低学年（特に2年生）においては伝える楽しさを体感するような場作りが必要である。今年も英語専科とALTの分かった、できた、楽しいが体感できる授業作りの成果が顕著に現れたと感じている。

注視した点としては、2年生、3年生に好きではないという回答が見られたことである。特に、3年生については、外国語活動として教科に入っていくための過渡期、大切な入門期であると考えている。3年生については外国語が好き、楽しいと思えるような学習の場づくりを工夫していきたい。

高学年においては、小小連携や小中連携の学習を工夫してきた。さらにコミュニケーションの楽しさを体感できる学習を工夫したい。

【保護者・学校関係者から】

- 家庭でも学習した言葉を言ってみたり、歌を歌ったりすることがあります。英語を楽しく学んでいることが分かります。
- 自主的に家庭でもタブレット端末を使って学習（eライブラリ等）をする姿が見られました。英語を進んで学習していていいなと思います。
- 小学校から英語を学ぶことで、中学校の学習もスムーズにすすめていくことができると思います。
- 中学校で一緒になる他校の友達と英語を使って交流をしていると聞き、とてもいい取り組みだと感じています。
- 子どもたちは外国語の時間をとても楽しみにしています。英語を使って自分の考えを伝える活動を継続していく中で、子どもたちも様々な国の人と交流してみたいという意欲が高まっているようです。
- 必要な場面でタブレットを活用しながら授業を進められているので、児童も自分で単語を調べたり、発音を聞いたりして学習を進めることができます。